

第31回福岡アジア文化賞 芸術・文化賞

プラープダー・ユン

タイ

作家、映画作家、アーティスト

1973年8月2日生（47歳）

経歴

- | | |
|---------|--|
| 1973 | タイ、バンコク生まれ |
| 1988 | 中学を卒業後渡米 |
| 1997 | 米国、カーパー・ユニオン大学学士号（美術） |
| 1997- | ニューヨークにてグラフィックデザイナーとして活動 |
| 1998 | 兵役のためにタイに帰国 |
| 2000 | 短編小説集『直角の都市』、『可能性』を出版し、ともにベストセラー |
| 2002 | 初の長編小説 <i>Chit-tak!</i> を発表 |
| 2002-17 | 現代英語文学のタイ語への翻訳活動（『ロリータ』、『時計仕掛けのオレンジ』、『ライ麦畑でつかまえて』） |
| 2003-05 | タイで最も影響力のある雑誌 <i>Open Magazine</i> 共同編集者兼アートディレクター |
| 2004-06 | 日本の雑誌『EYESCREAM』や『STUDIO VOICE』、『Esquire Japan』などにて日本の文化に関する物語やエッセイを連載 |
| 2005 | 出版社Typhoon Books設立 |
| 2009 | 日本財団フェロー（プロジェクトテーマ：日本とフィリピンの現代美術と文化に見られる自然汎神論の新たな兆候） |
| 2012-15 | バンコク・クリエイティブ・ライティング・ワークショップ ディレクター |
| 2013-17 | タイ出版書店協会（PUBAT）副会長 |
| 2014 | 有限会社Bookmoby TVプロデューサー |
| 2015-17 | アジア太平洋出版協会（APPA）会長 |
| 2015- | 映画作家（監督）として活動 |

主な受賞歴

- | | |
|------|-------------------------|
| 2002 | 東南アジア文学賞 最優秀短編集賞（『可能性』） |
| 2017 | タイ、シラパートン賞（文芸部門） |

主な著作（小説、エッセイ）

小説

- ・『直角の都市』LIPS, 2000.
- ・『可能性』Soodsubda, 2000. [邦訳：所収『鏡の中を数える』]
- ・『地球で最後のふたり』ソニーマガジンス, 2004.
- ・『鏡の中を数える』タイフーン・ブックス・ジャパン, 2007.

- ・『パンダ』東京外国語大学出版会, 2011.
- ・『色 Colors』(共著), 芸術新聞社, 2013.
- ・*The Sad Part Was*, Tilted Axis Press, 2017.
- ・『ベースメント・ムーン』, Typhoon, 2018.
- ・*FESTE IN LACRIME [Parties in Tears]*, Add Editore, 2018.
- ・*Moving Parts*, Tilted Axis Press, 2018.

エッセイ

- ・『座右の日本』タイフーン・ブックス・ジャパン, 2008.
- ・『新しい目の旅立ち』Typhoon Books, 2015. [邦訳: 株式会社ゲンロン, 2020.]

主な映像作品

- ・『地球で最後のふたり』2003. (脚本)
- ・『インビジブル・ウェーブ』2006. (脚本)
- ・*Motel Mist*, 2016. (監督、脚本)
- ・『現れた男』2017. (監督、脚本)
- ・*Bangkok Breaking*, 2021. (共同脚本、製作総指揮)

主な展覧会

- ・『Have We Met?—見知らぬ君へ』東京, 2004-05. (共同キュレーター)
- ・*Thought on a Leo Tolstoy Story*, 東京, 2010.
- ・*Spiritutainment*, バンコク, 2011. (キュレーター)
- ・*Bangkok Book Festival*, バンコク, 2015-16. (キュレーター)